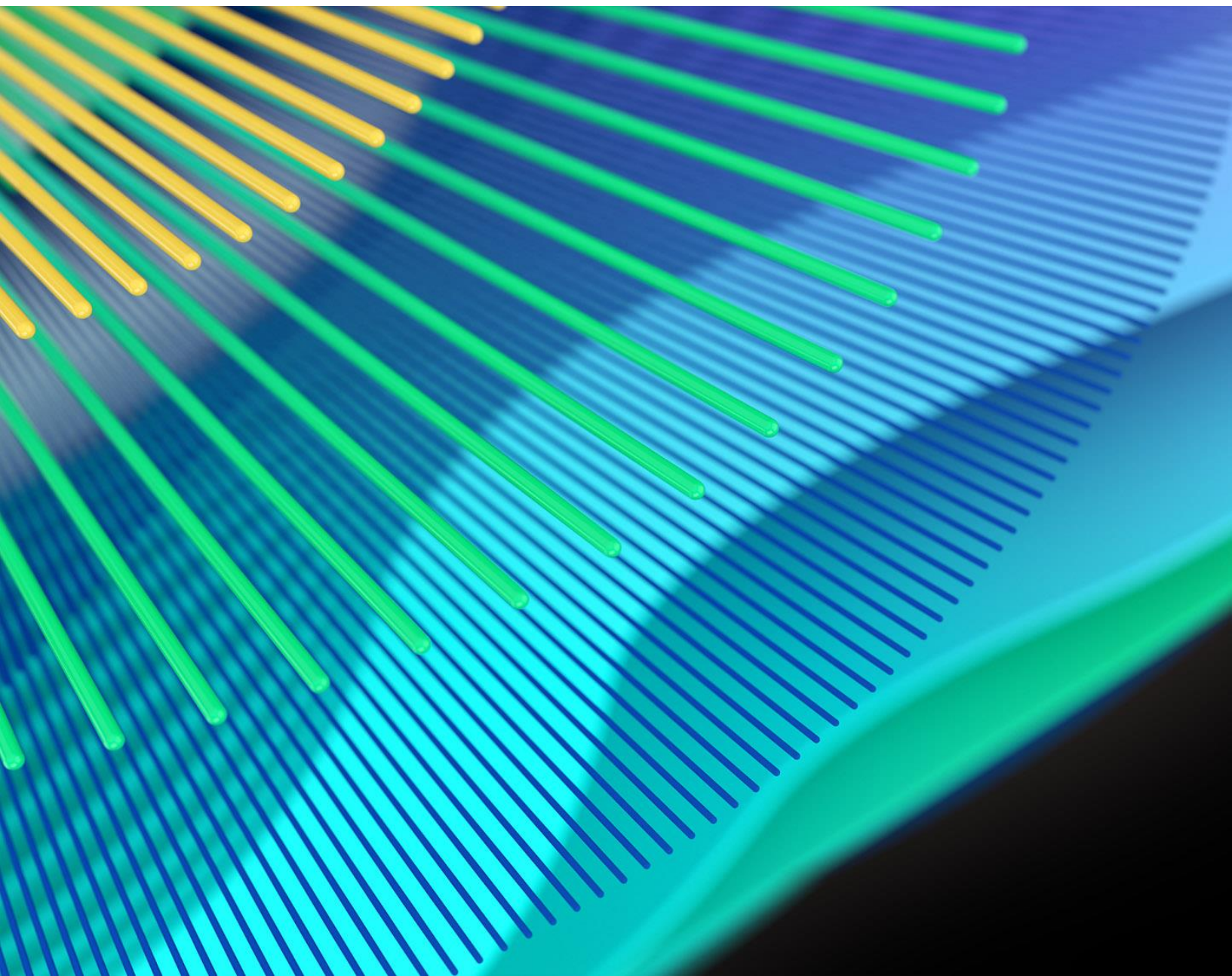


# ScholarOne Manuscripts リリースノート

2021 年第 3 四半期リリース



## 概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能の中には、管理者または ScholarOne の担当者が有効にしなければ使用できない機能もあります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

本リリースに含まれる項目についてご不明な点がございましたら、ScholarOne 製品サポート ([s1help@clarivate.com](mailto:s1help@clarivate.com)) までお問い合わせください。

## 内容

1. 2 段階デバイス認証の強化
2. 投稿の統合能力の向上
3. API 投稿ファイルへのリンク
4. getsubmissionFull API 追加事項 (希望する/希望しない)
5. API 通知サービスレポートのエクスポート
6. getIdsByDateTime API
7. 高権限ユーザーレポート
8. Cognos レポートに CRediT Taxonomy を追加
9. Internet Explorer のサポートを 2021 年 12 月に終了
10. 問題と注目すべき修正点

## 2021 年第 3 四半期リリース更新

## 1. 2 段階デバイス認証の更新

ScholarOne では、2021 年第 2 四半期のリリースで 2 段階デバイス認証を導入し、ポートフォリオ内のジャーナルで徐々に有効化してきました。今後もユーザーからのフィードバックに基づいてワークフローを改善していきます。まだデバイス認証を有効化していない発行者に対しては、第 3 四半期から第 4 四半期の間に ScholarOne 製品チームからロールアウト計画をお知らせします。

ユーザー

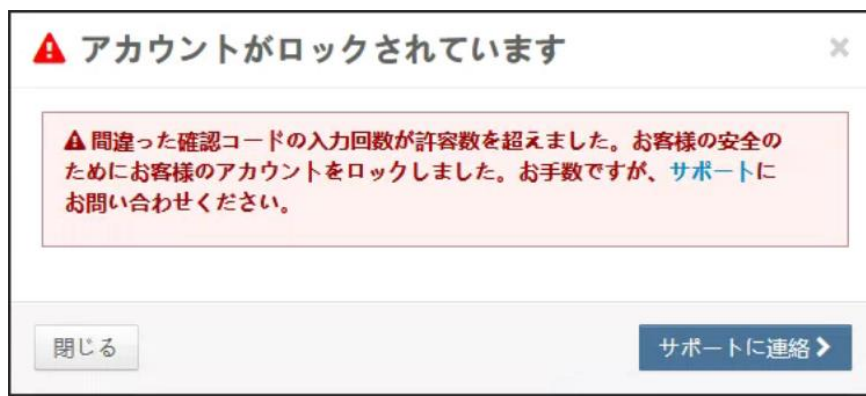


### 必要なアクション

デフォルトでは、著者/査読者以上のロールで利用可能です。著者/査読者には追加設定が必要です。

### 詳細と構成

- 今回の更新では、ログインせずに確認コードの有効期限を過ぎてしまったユーザーがサイトにアクセスしようとしたときに、標準の [認識されないデバイス] モーダルが表示され、確認コードが自動的に送信されるようになりました。今回の更新以前は、ユーザーに不正な確認コードのモーダルが表示され、確認コードが生成されませんでした。
- ユーザーが誤った確認コードを何度も入力すると、セキュリティのためにアカウントがロックされますこのロックアウトを知らせるメッセージが更新されてロックアウト期間が追記されました。また、ロックアウト期間が 30 分に変更されました。メッセージの文章は次のとおりです。「間違った確認コードの入力回数が許容数を超えました。お客様の安全のためにお客様のアカウントをロックしました。お手数ですが、サポートにお問い合わせください。」



- デバイス記憶機能を更新し、より多くのシナリオでデバイスを記憶するようになりました。

**▲ 認識されないデバイス** ×

セキュリティ上の理由で、Eメール「S1M スーパー雑誌マスター 確認コードのご連絡」を ch\*\*\*\*\*@th\*\*\*\*\*.com 宛に送信しました。メールに記載されている確認コードを入力欄に入力して、このデバイスを認証してください。

**▲ 確認コードの入力**

Eメールが届かない場合 [再送](#)  このデバイスを記憶する ⓘ

閉じる 確認 ▶

## 2. 投稿の統合能力の向上

投稿統合の処理能力が向上しました。統合パートナーは、ScholarOne の投稿統合プラットフォームの処理能力が顕著に向上したことを実感できるでしょう。

ユーザー

管理者

必要なアクション

投稿統合機能を使用するための構成は不要です。

詳細と構成

統合の処理速度が上がり、ピーク時の調整の必要性が減りました。

---

### 3. API 投稿ファイルへのリンク

著者が `getSubmissionInfoFull` API からアップロードした投稿ファイルにアクセスできる機能を追加しました。

ユーザー

管理者

必要なアクション

投稿統合機能を使用するための構成は不要です。

詳細と構成

AWS への URL を提供する子ノード `<doclink>` を親ノード `<submissionFiles>` に追加しました。発行者はこの URL を使って、投稿システムにアップロードしたファイルにアクセスできます。このリンクは 72 時間後に期限切れになります。

```
<submissionFiles>
  <customerFileName>Figure 10b.tif</customerFileName>
  <fileDesignation>Image</fileDesignation>
  <fileId>903294434</fileId>

  <systemFileName>36637661_File000026_903294434.tif</systemFileName>
  <docLink>https://clarivate-scholarone-prod-us-west-2-slm-
files.s3-us-west-
```

```
2.amazonaws.com/docfiles/prod1/acs/submissionfile/39879882/Main_Doc
ument.png&amp;X-Amz-SignedHeaders=host&amp;X-Amz-
Expires=259200&amp;X-Amz-
Credential=ASIAZC3RZHRAEDGVOMV7%2F20210622%2Fus-west-
2%2Fs3%2Faws4_request&amp;X-Amz-
Signature=e684e1644095c10090ffc876439698897bf900f3680755dfa6ac3cb99
216f53e</docLink>
</submissionFiles>
```

#### 4. getsubmissionFull API 追加事項 (希望する/希望しない)

希望する査読者/希望しない査読者、編集者、またはその両方の詳細情報を getsubmissionFull API に追加しました。

ユーザー

管理者

必要なアクション

投稿統合機能を使用するための構成は不要です。

詳細と構成

希望する査読者/希望しない査読者、編集者、またはその両方の詳細情報を getsubmissionFull API に追加しました。

- ユーザーレコードが見つかった場合、メタデータは著者が入力した情報ではなく人レコードから取得されます。
- ユーザーアカウントが見つからなかった場合、ScholarOne は著者から提供されたメタデータを出力します。

```
<revisionNumber>3</revisionNumber>
<preferredPerson>
  <personId>
  <ringgoldId>
  <firstName>
  <lastName>
  <email>
  <phone>
  <institution>
  <department>
  <preferredTypeName>PREFERRED</preferredTypeName>
  <personTypeName>Reviewer</personTypeName>
```

```
<comment> <!-- Captured from the Reason field-->
</preferredPerson>
```

```
<nonPreferredPerson>
  <personId>
  <ringgoldId>
  <firstName>
  <lastName>
  <email>
  <phone>
  <institution>
  <department>
  <preferredTypeName>NONPREFERRED</preferredTypeName>
  <personTypeName>Editor</personTypeName>
  <comment> <!-- Captured from the Reason field-->
</nonPreferredPerson>
<submissionCustomQuestions>
```

## 5. API 通知サービスレポートのエクスポート

結果グリッドの下にエクスポートボタンを追加して、通知サービスレポートをオフラインでのトラブルシューティング用にエクスポートできるようにしました。エクスポートの対象には、画面に表示されているページだけでなく検索結果全体が含まれます。

ユーザー

管理者

必要なアクション

投稿統合機能を使用するための構成は不要です。

詳細と構成

通知サービスレポートの左下に新しいエクスポートボタンが表示されます。

操作	メッセージ ID	日付の作成	ステータス	登録分類	次の処理日	期末日	利用書名	エンドポイント名	登録名	投稿ID	人の名前
成功		02-Aug-2021 9:38:24 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 9:43:27 AM EDT	09-Aug-2021 9:38:24 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 9:37:59 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 9:43:12 AM EDT	09-Aug-2021 9:37:59 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 5:42:59 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 5:48:13 AM EDT	09-Aug-2021 5:42:59 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 5:04:49 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 5:09:56 AM EDT	09-Aug-2021 5:04:49 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 4:52:26 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 4:58:45 AM EDT	09-Aug-2021 4:52:26 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 4:46:36 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 4:51:40 AM EDT	09-Aug-2021 4:46:36 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 4:27:22 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 4:32:24 AM EDT	09-Aug-2021 4:27:22 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 4:20:53 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 4:25:54 AM EDT	09-Aug-2021 4:20:53 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 3:37:26 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 3:42:26 AM EDT	09-Aug-2021 3:37:26 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 3:29:33 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 3:34:35 AM EDT	09-Aug-2021 3:29:33 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 2:29:32 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 2:34:47 AM EDT	09-Aug-2021 2:29:32 AM EDT	QA BP				
成功		02-Aug-2021 2:15:28 AM EDT	Succeeded	System Events	02-Aug-2021 2:20:31 AM EDT	09-Aug-2021 2:15:28 AM EDT	QA BP				
成功		30-Jul-2021 11:04:28 AM EDT	Succeeded	System Events	30-Jul-2021 11:09:32 AM EDT	06-Aug-2021 11:04:28 AM EDT	QA BP				
成功		30-Jul-2021 9:27:27 AM EDT	Succeeded	System Events	30-Jul-2021 9:32:41 AM EDT	06-Aug-2021 9:27:27 AM EDT	QA BP				
成功		30-Jul-2021 9:06:54 AM EDT	Succeeded	System Events	30-Jul-2021 9:11:59 AM EDT	06-Aug-2021 9:06:54 AM EDT	QA BP				
成功		30-Jul-2021 8:15:24 AM EDT	Succeeded	System Events	30-Jul-2021 8:20:37 AM EDT	06-Aug-2021 8:15:24 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 5:01:03 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 5:06:07 AM EDT	03-Aug-2021 5:01:03 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 4:44:18 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 4:49:21 AM EDT	03-Aug-2021 4:44:18 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 4:23:09 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 4:28:20 AM EDT	03-Aug-2021 4:23:09 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 4:18:54 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 4:24:05 AM EDT	03-Aug-2021 4:18:54 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 4:16:50 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 4:21:29 AM EDT	03-Aug-2021 4:16:50 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 3:58:05 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 4:03:19 AM EDT	03-Aug-2021 3:58:05 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 3:56:43 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 4:01:49 AM EDT	03-Aug-2021 3:56:43 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 3:55:18 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 4:00:18 AM EDT	03-Aug-2021 3:55:18 AM EDT	QA BP				
成功		27-Jul-2021 3:54:23 AM EDT	Succeeded	System Events	27-Jul-2021 3:59:33 AM EDT	03-Aug-2021 3:54:23 AM EDT	QA BP				

## 6. getIdsByDateTime API

日時を指定して論文 ID を取得できる新しい API を追加しました。これは、データのバックフィルを検討している発行者にとって特に有用です。API で日時を指定して論文 ID を取得できる機能が追加されたことで、発行者は特定の期間内の論文を閲覧した後、他の API を使ってそれらの投稿に関する追加データを収集できるようになりました。

管理者

必要なアクション

デフォルトで使用可能です。

詳細と構成

投稿統合機能を使用するための構成は不要です。

出力の例:

```
<submission>
  <siteName>
  <transferSubId>
  <documentIdOriginal>
  <documentId>
  <documentIdLatest>
  <submissionIdOriginal>
  <submissionId>
  <submissionIdLatest>
```



</submission>

---

## 7. 高権限ユーザーレポート

高権限ユーザーレポートでは、発行者のポートフォリオ全体で、どのユーザーがより高いパーミッションのアカウントでジャーナルにアクセスしているかを1つのレポートで把握することができます。発行者は、この発行者レベルのレポートを頻繁に使用して、現在のユーザーのみがより高いパーミッションのアカウントにアクセスしていることを確認する必要があります。

ユーザー

管理者

必要なアクション

デフォルトで使用可能

### 詳細と構成

高権限ユーザーレポートは、発行者ポータルスタンダードレポートの下にあります。



スタンダードレポートの閲覧

[提出](#)  
[決定](#)  
[署名の抄録](#)  
[直話](#)  
[発行統計](#)  
[依頼論文](#)  
[一定期間の投稿数](#)  
[譲渡済み論文](#)  
[Reviewer Locator](#)  
[Reviewer Connect](#)

このレポートは以下の項目でフィルタリングできます。

- ユーザーロール
- アカウント作成日
- 前回のログイン日

このレポートには以下のフィールドが取り込まれます。

- 第1E メールアドレス



ユーザー

管理者

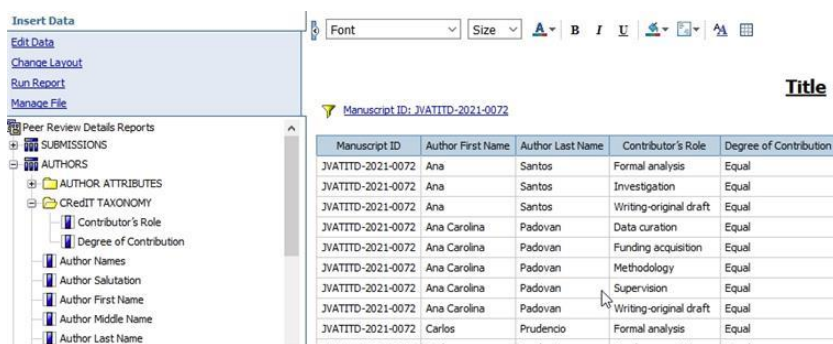
必要なアクション

デフォルトで使用可能

## 詳細と構成

寄稿者ロール: 研究に関わった個々の寄稿者ロールについて記述します。これらの寄稿者の立場は著者の権限のレベルには達しませんが、論文に適切な謝辞が含まれるようになります。

寄稿度: 論文に対する寄稿者のロールの貢献度を記述します。



Manuscript ID	Author First Name	Author Last Name	Contributor's Role	Degree of Contribution
JVATITD-2021-0072	Ana	Santos	Formal analysis	Equal
JVATITD-2021-0072	Ana	Santos	Investigation	Equal
JVATITD-2021-0072	Ana	Santos	Writing-original draft	Equal
JVATITD-2021-0072	Ana Carolina	Padovan	Data curation	Equal
JVATITD-2021-0072	Ana Carolina	Padovan	Funding acquisition	Equal
JVATITD-2021-0072	Ana Carolina	Padovan	Methodology	Equal
JVATITD-2021-0072	Ana Carolina	Padovan	Supervision	Equal
JVATITD-2021-0072	Ana Carolina	Padovan	Writing-original draft	Equal
JVATITD-2021-0072	Carlos	Prudencio	Formal analysis	Equal

## 9. Internet Explorer のサポートを 2021 年 12 月に終了

ScholarOne Manuscripts では、2021 年 12 月をもって Internet Explorer (IE) のサポートを終了します。Microsoft 社は Internet Explorer のサポートを 2022 年で終了します。必ず ScholarOne がサポートしているブラウザ (Chrome、Firefox、Safari、Edge) に切り替えてください。

## ユーザー



必要なアクション  
デフォルトで使用可能

## 詳細と構成

なし

## 主な問題修正と機能の最適化

### 備考

ScholarOne では、リリースとリリースの間に数多くのパッチやホットフィックスを配布し、ユーザーにプラットフォームの継続的な改善を提供しています。これらの多くはプロセスを最適化するために内部のチームが行っているもので、ワークフローには影響しません。これらの変更についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

- **ISO 行政区分の更新:** デフォルトの国名を設定している場合も設定していない場合も、アメリカ合衆国がデフォルトの国名として設定される。
  - デフォルトの国名を設定している場合も設定していない場合も、アメリカ合衆国がデフォルトの国名として設定されます。ユーザーの国としていずれの国もデータベースに保存されていないにもかかわらず、アカウント詳細の UI にデフォルトの国が表示されてしまうことがありました。一見すると些細なことのようにですが、国境を越えた資金調達のシナリオを考慮する際には、この問題は影響を及ぼす可能性があります。
- **ORCID iD:** アカウント作成時の ORCID iD 作成
  - アカウント作成時に ORCID iD を作成すると重大なエラーが発生する問題を解決しました。
- **RightsLink:** カナダの行政区分ニューファンドランドとラブラドルの国別コード情報を更新
  - カナダのニューファンドランド ラブラドル州の ISO 国コード情報を NF から NL に更新しました。以前のエントリでは、RightsLink を介した投稿処理でエラーが発生していました。今回の更新により、州の略語が略語が ISO 規格に沿ったものになりました。
- **RightsLink:** RightsLink を介した投稿の処理に影響する JSON の問題を解決
  - JSON の出力が RightsLink を介した投稿のエラーを引き起こしていた問題を修正しました。

## 詳細のお問い合わせ先

ScholarOne 製品サポート  
[s1help@clarivate.com](mailto:s1help@clarivate.com)

電話番号: 888 503 1050 (米国) または  
0800 328 8044 (英国)  
月曜日午前 12:00 ~ 金曜日午後 8:30 (東部標準時)

### Web of Science について

Clarivate 社が管理する *Web of Science* は、世界の研究情報を整理し、学术界、企業、出版社、政府が研究を加速することを可能にします。世界最大の出版社、中立的な引用索引とリサーチインテリジェンス プラットフォームである *Web of Science* を利用しています。多くのブランドを手掛け、*Converis*、*EndNote*、*Kopernio*、*Publons*、*ScholarOne*、*Institute for Scientific Information (ISI)* などは特によく知られています<sup>1</sup>。Web of Science Group の「大学」である ISI はインデックス、関連情報、分析コンテンツ、サービスを構築する基盤となるナレッジコーパスを管理し、イベント、会議、出版物を通して外部にその知識を広め、調査を実施してナレッジベースの維持、拡張、改善に努めています。詳細については [webofsciencegroup.com](http://webofsciencegroup.com) をご覧ください。

© 2021 Clarivate. All rights reserved. Clarivate の書面による事前の同意なしに、Clarivate のコンテンツを再発行や再配布すること（フレーミングまたは類似の方法による場合を含む）は禁止されています。Web of Science とそのロゴ、および本文書で使用されている他のすべての商標はそれぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。